



平成 28 年 12 月 12 日

各 位

会社名 日本カーバイド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 松尾 時雄
(コード番号 4064 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 角田 尚久
(TEL 03-5462-8212)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 2 月 8 日に開示いたしました「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東大

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	35,988	△2.3	499	△67.2	444	△64.8	99	△83.9
24年3月期第3四半期	36,850	△6.6	1,524	△59.6	1,264	△63.9	619	△69.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 277 百万円 (△64.9%) 24年3月期第3四半期 788 百万円 (△42.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.22	—
24年3月期第3四半期	8.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	59,642	17,070	27.4
24年3月期	56,790	16,970	28.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 16,337 百万円 24年3月期 16,351 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	1.8	1,100	△33.0	1,100	△24.0	300	△29.8	3.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4 ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、4 ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	81,940,298 株	24年3月期	81,940,298 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	55,669 株	24年3月期	53,866 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	81,885,747 株	24年3月期3Q	72,763,453 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年10月26日公表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4 ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では回復基調が持続しているものの、長期化している欧州諸国の債務問題に加え、中国を中心としたアジア新興国における成長ペースの鈍化などにより、依然として停滞感が拭えない状況で推移しました。また、わが国においては、東日本大震災後の復興需要などによる下支えや、後半には株高・円安傾向が見えはじめたものの、輸出の不振などにより総じて低調な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、長引く輸出環境の低迷に加え、デジタル家電向け製品の需要の落ち込みなどもあり、引き続き厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は 359 億 8 千 8 百万円 (前年同期比 2.3%減)、営業利益は 4 億 9 千 9 百万円 (前年同期比 67.2%減)、経常利益は 4 億 4 千 4 百万円 (前年同期比 64.8%減)、四半期純利益は 9 千 9 百万円 (前年同期比 83.9%減) となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けなどが順調に推移し、前年同期比増収となりました。メラミン樹脂関連製品は国内向けは好調でしたが、海外向けが低調に推移し、前年同期並となりました。接着関連製品は光学関連分野向けが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は 116 億 5 千 6 百万円と前年同期比 3 千 1 百万円 (0.3%増) の増収、セグメント利益は 10 億 9 千 9 百万円と前年同期比 8 千 1 百万円 (8.0%増) の増益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどあります。

このうち、マーキングフィルムは国内向けが順調に推移し、前年同期比増収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が堅調に推移し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは欧米向けが低迷し、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は 107 億 7 千 3 百万円と前年同期比 1 億 7 千 8 百万円 (1.6%減) の減収、セグメント利益は、中国や東南アジア地域での原価高などもあり、1 億 4 百万円と前年同期比 1 億 6 千 1 百万円 (60.8%減) の減益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、セラミック基板はデジタル家電向けが振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板は液晶関連向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は52億2千4百万円と前年同期比6億5千8百万円(11.2%減)の減収となり、セグメント損失は、セラミック基板の減産の影響が大きく、5億7百万円(前年同期は1億2千7百万円の利益)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などではありますが、主力の手摺、笠木等の販売が好調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は65億7千8百万円と前年同期比2億3千4百万円(3.7%増)の増収、セグメント利益は1億1千1百万円と前年同期比1千3百万円(13.3%増)の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などではありますが、国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、前年同期比減収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は41億7千7百万円と前年同期比4億1千5百万円(9.0%減)の減収、セグメント利益は3千9百万円と前年同期比3億3百万円(88.4%減)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比28億5千1百万円増加し、596億4千2百万円となりました。

このうち、流動資産は、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、前期末比25億1百万円増加し、285億2千7百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の取得などにより、前期末比3億5千万円増加し、311億1千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比27億5千1百万円増加し、425億7千1百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金が増加したことなどにより、前期末比13億2千3百万円増加し、274億5千1百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したことなどにより、前期末比14億2千7百万円増加し、151億1千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益の計上などにより、前期末比1億円増加し、170億7千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末の28.8%から1.4ポイント悪化し、27.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、デフレ脱却に向けた経済政策の期待はあるものの、欧州諸国での債務問題の影響による輸出の低迷やデジタル家電向けを中心とした需要回復の遅れによる操業度の悪化に加え、原材料価格の上昇及び中国や東南アジア地域での更なる原価高が懸念され、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような認識のもと、平成24年10月26日に公表しました通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

平成25年3月期 通期連結業績予想数値(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成24年10月26日発表)	50,000	1,800	1,600	800	9円77銭
今回修正予想(B)	50,000	1,100	1,100	300	3円66銭
増減額(B-A)	—	△ 700	△ 500	△ 500	—
増減率(%)	—	△ 38.9	△ 31.3	△ 62.5	—
前期(平成24年3月期)実績	<u>49,110</u>	<u>1,641</u>	<u>1,446</u>	<u>427</u>	<u>5円70銭</u>

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,611	4,908
受取手形及び売掛金	11,980	13,959
商品及び製品	4,969	4,993
仕掛品	1,732	1,520
原材料及び貯蔵品	1,631	1,727
その他	1,182	1,522
貸倒引当金	△81	△105
流動資産合計	26,026	28,527
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,894	6,257
土地	14,205	14,196
その他（純額）	6,665	6,128
有形固定資産合計	26,764	26,582
無形固定資産	393	374
投資その他の資産		
その他	3,758	4,305
貸倒引当金	△152	△147
投資その他の資産合計	3,605	4,158
固定資産合計	30,764	31,115
資産合計	56,790	59,642

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,574	9,668
短期借入金	12,745	14,140
1年内償還予定の社債	200	—
未払法人税等	278	225
賞与引当金	505	595
その他	2,824	2,821
流動負債合計	26,128	27,451
固定負債		
長期借入金	6,566	8,009
退職給付引当金	2,741	2,804
役員退職慰労引当金	195	181
再評価に係る繰延税金負債	3,885	3,885
その他	302	238
固定負債合計	13,691	15,119
負債合計	39,820	42,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,682	2,619
自己株式	△8	△9
株主資本合計	12,112	12,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△246	△222
繰延ヘッジ損益	△25	△22
土地再評価差額金	6,938	6,938
為替換算調整勘定	△2,427	△2,403
その他の包括利益累計額合計	4,239	4,289
少数株主持分	618	732
純資産合計	16,970	17,070
負債純資産合計	56,790	59,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	36,850	35,988
売上原価	27,688	27,779
売上総利益	9,162	8,209
販売費及び一般管理費	7,637	7,709
営業利益	1,524	499
営業外収益		
受取利息	45	28
受取配当金	41	61
受取賃貸料	45	51
その他	168	104
営業外収益合計	301	245
営業外費用		
支払利息	225	200
その他	337	99
営業外費用合計	562	300
経常利益	1,264	444
特別利益		
固定資産売却益	43	—
投資有価証券等売却益	1	—
負ののれん発生益	5	—
特別利益合計	50	—
特別損失		
固定資産除却損	9	12
投資有価証券等評価損	11	45
減損損失	15	1
災害による損失	189	—
その他	1	—
特別損失合計	226	59
税金等調整前四半期純利益	1,088	385
法人税、住民税及び事業税	417	448
法人税等調整額	△93	△282
法人税等合計	323	165
少数株主損益調整前四半期純利益	764	219
少数株主利益	144	119
四半期純利益	619	99

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	764	219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	32
繰延ヘッジ損益	△10	2
土地再評価差額金	559	—
為替換算調整勘定	△426	21
その他の包括利益合計	24	57
四半期包括利益	788	277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686	150
少数株主に係る四半期包括利益	101	126

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	11,622	10,951	5,882	6,341	3,487	38,283	△1,432	36,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	—	3	1,106	1,112	△1,112	—
計	11,625	10,951	5,882	6,344	4,593	39,396	△2,545	36,850
セグメント利益	1,018	265	127	98	343	1,850	△586	1,264

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	11,595	10,773	5,224	6,573	2,181	36,346	△357	35,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	0	—	5	1,997	2,063	△2,063	—
計	11,656	10,773	5,224	6,578	4,177	38,409	△2,420	35,988
セグメント利益又は 損失(△)	1,099	104	△507	111	39	845	△401	444

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社 上場取引所 東 大
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,107	△2.2	715	△56.5	660	△52.2	300	△59.2
24年3月期第3四半期	36,917	△6.4	1,642	△56.4	1,382	△60.5	737	△63.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 478 百万円 (△47.3%) 24年3月期第3四半期 906 百万円 (△34.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	3.67	—
24年3月期第3四半期	10.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	60,097	17,639	27.9
24年3月期	57,121	17,337	29.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 16,740 百万円 24年3月期 16,553 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	1.6	1,100	△37.6	1,100	△29.9	300	△39.5	3.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4 ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、4 ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	81,940,298 株	24年3月期	81,940,298 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	55,669 株	24年3月期	53,866 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	81,885,747 株	24年3月期3Q	72,763,453 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年10月26日公表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4 ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では回復基調が持続しているものの、長期化している欧州諸国の債務問題に加え、中国を中心としたアジア新興国における成長ペースの鈍化などにより、依然として停滞感が拭えない状況で推移しました。また、わが国においては、東日本大震災後の復興需要などによる下支えや、後半には株高・円安傾向が見えはじめたものの、輸出の不振などにより総じて低調な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、長引く輸出環境の低迷に加え、デジタル家電向け製品の需要の落ち込みなどもあり、引き続き厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は 361 億 7 百万円 (前年同期比 2.2%減)、営業利益は 7 億 1 千 5 百万円 (前年同期比 56.5%減)、経常利益は 6 億 6 千万円 (前年同期比 52.2%減)、四半期純利益は 3 億円 (前年同期比 59.2%減) となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けなどが順調に推移し、前年同期比増収となりました。メラミン樹脂関連製品は国内向けは好調でしたが、海外向けが低調に推移し、前年同期並となりました。接着関連製品は光学関連分野向けが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は 116 億 5 千 6 百万円と前年同期比 3 千 1 百万円 (0.3%増) の増収、セグメント利益は 10 億 9 千 9 百万円と前年同期比 8 千 1 百万円 (8.0%増) の増益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどあります。

このうち、マーキングフィルムは国内向けが順調に推移し、前年同期比増収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が堅調に推移し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは欧米向けが低迷し、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は 107 億 7 千 3 百万円と前年同期比 1 億 7 千 8 百万円 (1.6%減) の減収、セグメント利益は、中国や東南アジア地域での原価高などもあり、1 億 4 百万円と前年同期比 1 億 6 千 1 百万円 (60.8%減) の減益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、セラミック基板はデジタル家電向けが振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板は液晶関連向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は52億2千4百万円と前年同期比6億5千8百万円(11.2%減)の減収となり、セグメント損失は、セラミック基板の減産の影響が大きく、5億7百万円(前年同期は1億2千7百万円の利益)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などではありますが、主力の手摺、笠木等の販売が好調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は65億7千8百万円と前年同期比2億3千4百万円(3.7%増)の増収、セグメント利益は1億1千1百万円と前年同期比1千3百万円(13.3%増)の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などではありますが、国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、前年同期比減収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は42億4千万円と前年同期比3億5千6百万円(7.7%減)の減収、セグメント利益は2億5千6百万円と前年同期比7千万円(21.5%減)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比29億7千5百万円増加し、600億9千7百万円となりました。

このうち、流動資産は、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、前期末比26億2千4百万円増加し、288億1千2百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の取得などにより、前期末比3億5千1百万円増加し、312億8千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比26億7千4百万円増加し、424億5千8百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金が増加したことなどにより、前期末比12億4千6百万円増加し、273億3千8百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したことなどにより、前期末比14億2千7百万円増加し、151億1千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益の計上などにより、前期末比3億1百万円増加し、176億3千9百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末の29.0%から1.1ポイント悪化し、27.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、デフレ脱却に向けた経済政策の期待はあるものの、欧州諸国での債務問題の影響による輸出の低迷やデジタル家電向けを中心とした需要回復の遅れによる操業度の悪化に加え、原材料価格の上昇及び中国や東南アジア地域での更なる原価高が懸念され、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような認識のもと、平成24年10月26日に公表しました通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

平成25年3月期 通期連結業績予想数値(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成24年10月26日発表)	50,000	1,800	1,600	800	9円77銭
今回修正予想(B)	50,000	1,100	1,100	300	3円66銭
増減額(B-A)	—	△ 700	△ 500	△ 500	—
増減率(%)	—	△ 38.9	△ 31.3	△ 62.5	—
前期(平成24年3月期)実績	<u>49,198</u>	<u>1,763</u>	<u>1,569</u>	<u>495</u>	<u>6円61銭</u>

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,611	4,908
受取手形及び売掛金	11,989	14,087
商品及び製品	4,969	4,993
仕掛品	1,802	1,596
原材料及び貯蔵品	1,714	1,808
その他	1,182	1,522
貸倒引当金	△81	△105
流動資産合計	26,187	28,812
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	5,927	6,306
土地	14,205	14,196
その他(純額)	6,678	6,141
有形固定資産合計	26,811	26,644
無形固定資産	393	374
投資その他の資産		
その他	3,881	4,414
貸倒引当金	△152	△147
投資その他の資産合計	3,728	4,266
固定資産合計	30,934	31,285
資産合計	57,121	60,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,574	9,668
短期借入金	12,745	14,140
1年内償還予定の社債	200	—
未払法人税等	262	209
賞与引当金	505	595
その他	2,804	2,724
流動負債合計	26,092	27,338
固定負債		
長期借入金	6,566	8,009
退職給付引当金	2,741	2,804
役員退職慰労引当金	195	181
再評価に係る繰延税金負債	3,885	3,885
その他	302	238
固定負債合計	13,691	15,119
負債合計	39,783	42,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,885	3,022
自己株式	△8	△9
株主資本合計	12,314	12,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△246	△222
繰延ヘッジ損益	△25	△22
土地再評価差額金	6,938	6,938
為替換算調整勘定	△2,427	△2,403
その他の包括利益累計額合計	4,239	4,289
少数株主持分	784	898
純資産合計	17,337	17,639
負債純資産合計	57,121	60,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	36,917	36,107
売上原価	27,641	27,765
売上総利益	9,275	8,342
販売費及び一般管理費	7,632	7,627
営業利益	1,642	715
営業外収益		
受取利息	45	28
受取配当金	41	61
受取賃貸料	45	51
その他	168	104
営業外収益合計	301	245
営業外費用		
支払利息	225	200
その他	337	99
営業外費用合計	562	300
経常利益	1,382	660
特別利益		
固定資産売却益	43	—
投資有価証券等売却益	1	—
負ののれん発生益	5	—
特別利益合計	50	—
特別損失		
固定資産除却損	9	12
投資有価証券等評価損	11	45
減損損失	15	1
災害による損失	189	—
その他	1	—
特別損失合計	226	59
税金等調整前四半期純利益	1,206	600
法人税、住民税及び事業税	417	448
法人税等調整額	△93	△267
法人税等合計	323	180
少数株主損益調整前四半期純利益	882	420
少数株主利益	144	119
四半期純利益	737	300

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	882	420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	32
繰延ヘッジ損益	△10	2
土地再評価差額金	559	—
為替換算調整勘定	△426	21
その他の包括利益合計	24	57
四半期包括利益	906	478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	804	351
少数株主に係る四半期包括利益	101	126

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	11,622	10,951	5,882	6,341	<u>3,490</u>	<u>38,286</u>	<u>△1,369</u>	<u>36,917</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	—	3	1,106	1,112	△1,112	—
計	11,625	10,951	5,882	6,344	<u>4,596</u>	<u>39,399</u>	<u>△2,482</u>	<u>36,917</u>
セグメント利益	1,018	265	127	98	<u>326</u>	<u>1,833</u>	<u>△451</u>	<u>1,382</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	11,595	10,773	5,224	6,573	<u>2,243</u>	<u>36,408</u>	<u>△301</u>	<u>36,107</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	0	—	5	1,997	2,063	△2,063	—
計	11,656	10,773	5,224	6,578	<u>4,240</u>	<u>38,471</u>	<u>△2,364</u>	<u>36,107</u>
セグメント利益又は 損失(△)	1,099	104	△507	111	<u>256</u>	<u>1,062</u>	<u>△402</u>	<u>660</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。